

しょうぶ|ねんせいのみなさんへ

みなさん、おうちでげんきにしていますか。

せんせいたちは、はやくみなさんに、おあいしたいなあとおもっています。

きっとみなさんもおともだちやせんせいに、はやくあいたいなあとおもっていることでしょう。

はなれているまいにちですが、わたしたちはみなさんからおおきなげんきをいただきました。

そのげんきのもと、なにかというと、おうちのかたがおくってくださったみなさんのおしゃしんです。

みなさんがせいふくをきて、らんどせるをせおったおしゃしんをみて、なんてかわいらしいのだろうと

ほんとうにうれしくおもい、なみだができるほどでした。

みなさんが、しょうぶにかようことをたのしみにしていることがつたわってきました。

そしておうちのかたが、みなさんをとつてもたいせつにおもっているきもちもつたわってきました。

ほんとうにうれしいことでした。おうちのかたには、ありがとうございます、とおつたえしたいです。

おおくりくださったおしゃしんをもうすぐまとめ、くらすのみんなでみあうことができるようにするので、

たのしみにしていってくださいね。きっとみなさんもうれしいきもちになるとおもいます。

さて、みなさんに1つしつもんです。

りんごはきのえだからおちるのに、なんでそらにうかんでいるつきはおちてこないのでしょうか。

おかしむかしのひとたちにとつても、これはおおきななぞでした。みなさんのなかにも、ふしぎにおもっ

たひとがいるのではないのでしょうか。ところがいまから350ねんくらいまえに、いぎりすに、このおおき

きななぞをとくひとがあらわれました。「にゅーとん」さんです。

にゅーとんさんは、このなぞにとりくみ、つきはうかんでいるのではなく、おちながら、ちきゅうのまわりを

うまくまわっているとかがえました。そしてにゅーとんさんは、うちゅうのすべてのものはみえないちか

らでひっぱりあっているということをはっけんし、そのちからを「ばんゆういんりょく」とよびました。おずかしいですね。そのころのひとはこのあたらしいかんがえにびっくりしました。

にゅーとんさんはうちゅうのことや、もののおもさのことなど、これからみなさんががっこうでならう、たくさんのことをはっけんしました。おどろくことに、このたいせつなはっけんは、にゅーとんさんが24さいというわかいころの2ねんかんにあったことなのです。

そしてもっとおどろくことは、このはっけんがあった2ねんかんは、じつは、いぎりすに、いませかいにひろがっているようなびょうき(ペすと)がひろがっていたときだということです。

にゅーとんさんは、いまのみなさんのように、がっこうにいけなくなり、いえですごすことになりました。

そしてそのときにじっくり、なぜつきは、りんごのようにおちてこないのだろうと、いつもふしぎにおもっていたことについてかんがえたのです。あとからふりかえって、にゅーとんさんは、じんせいでいちばんおおくのことをはっけんしたのは、いえですごしたこのときだったといっています。

では、にゅーとんさんがいくつものことをはっけんができたのはどうしてなのでしょう。

わたしは、にゅーとんさんは、ほかのひとがあたりまえとおもってしまうことでも、なぜだろう、どうしてだろう、ふしぎだなあと、おもえるひとだったのではないかとおもいます。そしてそのふしぎなことについてかんがえたり、しらべたり、まなんだりするひとだったのではないかとおもいます。

みなさんはどんなことをふしぎに感じていますか。みなさんのまわりにはどんななぞがありますか。

おうちですごすまいにちのなかで、ぜひみなさん、そのふしぎについて、かんがえてみてください。

なぞはかんたんにはとけないかもしれません。しかしまず、なぜだろう、どうしてだろうとおもうことがたいせつです。いつかそこから、おおきなはっけんがうまれるかもしれません。

ながいてがみをよんでくれてありがとう。では、みなさん、げんきですごしてください。